

平成26年 7月31日

博士後期課程学生 各位

図書館情報メディア研究科長

RDF プランナーの全学導入について

本学では、学生が研究者として社会から求められる能力を養うためのオンラインツールとして、**Researcher Development Framework Planner** (RDF プランナー) を、平成25年度に試行的に導入しました。

つきましては、今後、以下のような手順を進める予定でおりますので、お知らせします。

* 対象：博士後期学生（一貫制博士課程で中間評価合格とされた者、3年制博士課程、医学の課程を含みます。）

* RDF プランナーとは

RDF プランナーは、知的能力、個人の資質、専門家としての行動規範、コミュニケーション力など、研究者に必要な能力を身に付けるのを助け、博士取得者がどのような場面でも活躍できるトランスファラブルなスキルを養うウェブアプリケーションです。

RDF プランナーでは、アプリケーションに挙げられた63種の能力について研究や学内外での活動を記録することで、「何をしたか」「それを通してどんな能力が身に付いたか」を記録し、振り返ることができます。こうして作り上げる研究活動のポートフォリオによって、研究者としての自分の強みや、強化すべき課題などを把握し、研究活動を通して修得している様々な能力をトランスファラブルに活用できるようになるものと期待しています。ぜひ、全ての博士課程後期学生に活用していただきたいと考えております。

なお、RDF プランナーは、各自がポートフォリオとして活用するもので、教育組織や指導教員が学生を管理するためのアプリケーションではありません。学生が入力したデータは、管理者にも閲覧の権限は与えられていません。入力内容を、アプリケーションが診断することはありません。先生方が研究指導や進路指導に活用される場合は、学生各自が出力したものを資料として利用していただくことになります。

詳細は、別添の「RDF Plannner guide」、「RDF phases（仮訳）」をご覧ください。

《運用準備》

RDF プランナーの利用を開始するには、①アプリケーションから学生に招待メールを送り、②学生自身がパスワードを設定して登録を完了することが必要です。

なお、学生自身が招待を受諾し、パスワードを設定しないと登録が完了しないため、学生本人の意に反して RDF プランナーに登録されることはありません。

つきましては、招待メールを送るために、以下のデータを TWINS から作成し手続きを進めますので、ご承知おき願います。

First name (漢字表記、カタカナ表記、ローマ字表記のいずれか)

Last name (漢字表記、カタカナ表記、ローマ字表記のいずれか)

Email (s*****@u.tsukuba.ac.jp)

Student ID (学籍番号)

《説明会》

今後、教員を対象に RDF プランナーの概略と趣旨についてご理解いただくための説明会、学生に操作方法と活用法を知ってもらうための説明会を迫って開催する予定です。